

要望書

「埼玉県議会動物と共生する社会を推進する議員連盟」は、去る12月4日に21名の議員が参加し、熊谷市の埼玉県動物指導センターを視察してまいりました。

今回の視察では、近年犬猫の殺処分数が大幅に削減されるなど、本県の動物愛護行政の目覚ましい成果を実感してまいりました。

このような成果に我々議員連盟も、担当職員の地道な努力に敬意を表するものであります。

また、動物愛護行政を取り巻く社会環境の変化や、今後の殺処分ゼロという目標達成に向けては、まだまだ課題が多いことも認識したところであります。

そこで、当議員連盟といたしまして、本県の今後の動物愛護行政について以下の内容について要望をいたします。

- 1 犬猫の殺処分数が、平成28年2月14日現在で1,615頭と、本年度の目標値である1,500頭を大きく超えている。このままでは、埼玉県5か年計画の目標値である平成28年度で1,000頭未滿についても、目標の達成が難しい状況である。

については、直ちに殺処分数減少に向け、新たな対応策を検討すること。

- 2 地域猫活動について、補助金を受けられない多くの方々が日々ボランティアで取り組んでいる現状がある。そのような方々に対し、積極的に相談やアドバイスを行うなど、県として具体的な支援策を検討すること。

- 3 埼玉県動物指導センターは、築43年と老朽化が進んでいる。近年動物愛護行政を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、時代のニーズに合わせた新たなセンターが必要である。
今後より一層、動物愛護行政を推進するため、動物指導センターの建て替えを検討すること。

平成28年3月8日

埼玉県知事 上田 清司 様

埼玉県議会動物と共生する社会を推進する議員連盟

会 長 西山 淳次